

2017
(H29)
師走号
12/26
20-295-
ツクバネ草

右馬允たしま

クリスマスも 終り 新年を 迎えるのよと
なりましたが 本日は 土と休み、昨日 まで 青空は
と、へやら 雪荒れの 寒々しい 大鹿村です。

12月 15日 小浜線(いつも車を走らせ 153号
走る道) の 滝沢トンネルの 入口(というか出口と
いうか) の 2度目の 崩落を 起こし 私たちは
生田峠の 通称 岩洞いわほら→県道22号 松川-大鹿線と 走り
かかっています。恐... 恐い、この 29日 午後に 今坂
アールトンネルを 通すらしいです。片側通行らしい
ですが 峠を 走るよりは 余り程 楽で 安堵してい
ます。トンネル工事の 振動で 度々 崩れている 沢から
いつまた 崩れるのかは 計り知れず 身を危険に 晒
らしての 3行き来です。自然は ツニア など 受け付け
なさそうです。大きな 事故の 起きる前に 中止
に なって 欲しいもの と 心秘かに 念じています。
目下 の 村民の 不安は ガソリン 灯油 の 7-11 少
車、救急患者の 輸送 などです。

12月上旬 お客様が 無い時 右馬允の 公園を 上りた
ころの 紺色の カーペット を 剥がし 畳に 替えました。畳の 香り
の 旅舎の 最初のお客様は 夕日 伊佐治様 の お孫様たち
私たちは 胸を 張って お出迎え、念願の 10 叶えられました。

15日 (友人と 前日 日です) 東京 の 山本 學様、大阪 の 中山
先生 は 峠まわりを に来村、この日は 遠山郷(八重河内)の 霜月祭を
みる 予定 みたい という 目的で 来られた 次第、夕飯を 早めに 終
え 夕時 出発、9時 少し前 に 着いて 計画通り、八幡神社の
社の中 の 釜の 湯は クラクラ 煮えたきり 神事の 始まるのを
待つばかり、先輩から 後輩へ しっかりと 受け継がれて あり
若者が 美しく 軽やかに 踊る、中山先生ご夫妻 學様 私たち
しっかりと 湯立て 神楽の 熱湯を 浴び 新年 きたと 神事
がある と 各々 秘かに 思った と でした。神事を
楽しんで いる 私たちと 離れ 久美は 寒い 外で 神社の 石垣
を 登り 身体を 暖めて いたみたい、最近 ロッククライミングに
凝っていて 中津川 湍流の 鹿風岩、宮田村の 猿岩に 出かけた
めきり岩と たりを した 生活を 楽しんで います。神事の
経路に 入り 面をつけて 湯釜を 2周 舞うことと 許された 正
と 學さんも 必死で 歩を進め 無事 役目を 済ませ 真夜中
12時 まで 続いている 八幡神社を 後に しました。

あつという 周の 1年 でした、この 先 不安に なること
ばかり 起きている 地球 ですから、自分 別に 精一杯 がんばり
ましょう。来る年と とうぞう ようく お願ひ 致します。